

駅の語源と畦町遺跡

駅といえば現在では電車の停車場所を指すのが普通ですが、元は奈良時代頃の幹線道路沿いに置かれた施設を指す言葉で、当時は駅家とも呼ばれていました。駅家は中国の駅伝制に倣い、道路に沿って等間隔で置かれ、早馬の乗り継ぎに加え、宿泊・休憩場所も提供していました。駅の馬へんは乗り継ぎの馬に由来し、つくりの尺の旧字体は𠄎で「次々と続く」の意味がありました。つまり、馬を常備した施設が幾つも置かれた様子を表現しています。全国に400余りあった駅家ですが、実はその一つ津日駅が畦町遺跡にあったとする説があります。江戸時代の唐津街道畦町宿の範囲内では、奈良時代の瓦や建物の礎石の存在が古文書などで知られていて、当時は珍しい瓦ぶき建物があつたとされています。一昨年



▲畦町遺跡の土器と瓦

に行つた発掘調査でも奈良時代頃の土木工事に伴う土壌が見つかり、土器の破片に加え瓦の破片も出土しました。将来、当時の幹線道路と駅の施設が発見される日が来るかも知れません。

問い合わせ 福津市教育総務課 ☎62・5093

知らない会社からのダイレクトメール!?

相談事例

知らない会社から「会員限定サービス」や「会員様へお知らせ」などと印刷された郵便物が、相次いで届きます。

(60歳代 男性)

アドバイス

差出人は、コンビニやガソリンスタンド、ドラッグストアなど複数の企業が参加するポイントカードの運営会社でした。カードの「会員規約」や「個人情報取り扱い」を確認したところ、ポイントプログラムの加盟企業に個人情報を提供することに「同意する」と記載されていました。ポイントがたまるサービスはお得で楽しいものですが、一方でセールスや市場動向調査などに使われることもあります。十分に理解してポイントカードを作りましょう。

● 問い合わせ ●

※毎週月曜・水曜・金曜日(9:00~16:00)は市役所で消費生活相談員が相談を受け付けています。
 ※福岡県消費生活センター(☎092・632・0999)でも随時相談を受け付けています。気軽に御相談ください。
 福津市消費生活相談窓口 ☎43・8106

福津のプレパパを応援します!



▲講座の中では、プレパパと先輩パパの交流の時間も設けました

突然ですが、あなたは新米パパです。幼い我が子がオムツにウンチをしたようです。第一発見者はあなた。さあ、どうしますか。
 「ウンチしてるよ!」とママに伝えて、オムツを交換してもらいますか。
 そんなことではダメです。「あなたがやってよ!」とママの不満が爆発してしまいませんか。
 これは今年度、市いきいき健康課と市男女共同参画推進室が共同で行っている事業「プレママパパ講座」の中

で、講師の山根佑介さん(未来デザイン総合研究所代表)が取り上げたエピソードです。参加したのは、もうすぐ子どもの誕生を迎えお父さんになる(プレパパ)の皆さんです。別室でプレママたちが保健師の話を聞く間に、「プレパパ講座」を受講していただいています。
 先ほどのエピソードを聞いたプレパパたちは、みんな一様に不思議そうな顔をしていました。そんなプレパパたちに、山根さんは語りかけます。「皆さんのお勤め先に、

採用から2か月が経つた新人がいるとしましょう。ある日、電話が鳴りました。そのとき、新人が「先輩、電話が鳴ってます」と言ったら、皆さんどう思いますか。さっきの「ウンチしてるよ」は、新人が「電話が鳴っています」と言ったことと同じなのです」この言葉に、プレパパたちはハッとさせられます。
 「オムツ交換ぐらいは気付いたほうが進んでするのが大原則です。初めはぎこちないかもしれませんが、すぐに慣れますよ」と山根さんが付け加えると、大きくうなずいていました。
 この事業では、パパが育児や家事に積極的に関わることを目的にしています。そして、家事や育児に関わる時間を確保するために、ワーク・ライフ・バランスの実現が必要だと感じてもらうことを目指しています。このようにして、「男女がともに歩むまちづくり」の取り組みを進めています。
 問い合わせ 福津市男女共同参画推進室 ☎43・8111

今月のイチオシ

図書館では半月ごとに一押しの本を集め特集コーナーを作っています。

特集テーマ

「オリンピック・パラリンピック」

古代オリンピックからリオデジャネイロオリンピックとパラリンピックまで、各スポーツのルールと記録、また、人種、民族、政治やお金などオリンピックにまつわる問題を取り上げます。2020年の東京五輪をめぐる疑惑にも迫ります。



DVD



「家で死ぬということ」土屋勝裕制作統括 高橋克典出演

「先祖代々守り続けてきた家で死にたい」。都会で育つた男が、余命3か月と宣告された義母と岐阜県白川村で過ごす「ひと冬」の物語。



「HOME〜愛しの座敷わらし」和泉聖治監督 水谷豊出演

父の晃一の転勤で、東京から岩手の田舎町へ引っ越してきた高橋一家。新しい住まいはなんと座敷わらしが住む、築200年の古民家でした。

小学生向け



「最後の宝」ジャネット・S・アンダーソン著 早川書房

お金に困った一族を救えるのは、先祖が空き家に隠した秘宝だけ。13歳の少年エルズワースが、期待を背負い宝探しに挑むが…。



「百年の家」J・パトリック・ルイス作 講談社

17世紀に建てられた石造りの家が、新たな住人を迎えた20世紀の日々を自分史として語る。家と人が織りなす100年の歳月を描いた絵本です。

中学・高校生向け



「住まいの思考図鑑」佐川旭著 エクスナレッジ

かつての日本の住文化には長く住み継いでいく暮らしの知恵や工夫がありました。気候風土にあった長く愛せる家について分かりやすく解説します。



「ごっそりごっそりまちをかえよう」三浦文典著 彰国社

「隣の家が空き家になったらどうやって使うか、作戦を立ててみよう」など、ユーモアあふれる問いで現代社会が抱える問題を考えます。

一般書



「空き家問題」上田真一著 日本経済新聞出版社

空き家問題とは何か、原因、発生のメカニズムなど現状をお伝えします。また空き家の所有者向けに空き家の管理、解体、活用についてまとめます。



「実家のたたみ方」千葉利宏著 翔泳社

「誰も住まなくなった実家」「親の膨大な遺産」に途方に暮れる人が続出しています。そんな「困った」を解決するためのヒントやノウハウを提供します。

蔵書案内

図書館には、新しい本やDVDなどがたくさん入ってきます。御利用ください。問い合わせ 福津市立図書館 ☎42・8000

夢と創造の交差点のBook Cd・Dvd BLU-RAY